

貸借対照表

2022年 3月31日

(単位 円)

資 産 の 部 科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	(9,314,448,165)	(9,629,174,880)	(△ 314,726,715)
有形固定資産	< 8,480,328,191 >	< 8,721,669,502 >	< △ 241,341,311 >
土地	4,589,558,164	4,589,558,164	0
山林	4,000,000	4,000,000	0
建物	3,372,668,475	3,578,735,126	△ 206,066,651
構築物	183,689,493	212,686,703	△ 28,997,210
教育研究用機器備品	229,328,069	230,943,988	△ 1,615,919
管理用機器備品	12,419,973	17,253,699	△ 4,833,726
図書	88,114,009	84,217,294	3,896,715
車両	8	4,274,528	△ 4,274,520
建設仮勘定	550,000	0	550,000
特定資産	< 719,780,360 >	< 793,771,507 >	< △ 73,991,147 >
減価償却引当特定資産	201,000,000	201,000,000	0
退職給与引当特定資産	466,000,000	540,000,000	△ 74,000,000
建設整備準備金引当特定資産	22,003,505	22,003,505	0
ベルナデッタ奨学金特定資産	30,776,855	30,768,002	8,853
その他の固定資産	< 114,339,614 >	< 113,733,871 >	< 605,743 >
電話加入権	2,389,984	2,389,984	0
施設利用権	4	4	0
ソフトウェア	4,546,684	733,301	3,813,383
長期貸付金	37,000,000	39,400,000	△ 2,400,000
修学旅行費預り資産	70,392,942	71,200,582	△ 807,640
出資金	10,000	10,000	0
流動資産	(652,569,401)	(512,481,090)	(140,088,311)
現金預金	380,619,768	271,042,779	109,576,989
貯蔵品	3,032,725	3,101,725	△ 69,000
補助活動資産	4,505,144	5,426,674	△ 921,530
短期貸付金	2,400,000	11,690,000	△ 9,290,000
未収入金	70,250,160	73,820,105	△ 3,569,945
前払金	24,610,543	25,805,607	△ 1,195,064
立替金	2,824,623	1,936,062	888,561
修学旅行費預り資産	164,326,438	119,658,138	44,668,300
資 産 の 部 合 計	9,967,017,566	10,141,655,970	△ 174,638,404

(単位 円)

負債の部 科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	(959,531,239)	(1,111,929,513)	(△ 152,398,274)
長期借入金	405,955,000	472,195,000	△ 66,240,000
長期未払金	16,643,484	20,463,000	△ 3,819,516
退職給与引当金	466,539,813	548,070,931	△ 81,531,118
修学旅行費預り金	70,392,942	71,200,582	△ 807,640
流動負債	(686,609,717)	(542,441,185)	(△ 144,168,532)
短期借入金	66,240,000	66,240,000	0
未払金	238,084,411	161,861,634	76,222,777
前受金	107,616,500	111,099,000	△ 3,482,500
預り金	110,342,368	83,582,413	26,759,955
修学旅行費預り金	164,326,438	119,658,138	44,668,300
負債の部合計	1,646,140,956	1,654,370,698	△ 8,229,742

純資産の部 科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	(15,831,235,634)	(15,791,887,479)	(△ 39,348,155)
第1号基本金	15,561,235,634	15,521,887,479	39,348,155
第4号基本金	270,000,000	270,000,000	0
繰越収支差額	(△ 7,510,359,024)	(△ 7,304,602,207)	(△ 205,756,817)
翌年度繰越収支差額	△ 7,510,359,024	△ 7,304,602,207	△ 205,756,817
純資産の部合計	8,320,876,610	8,487,285,272	△ 166,408,662

科目	本年度末	前年度末	増減
負債及び純資産の部合計	9,967,017,566	10,141,655,970	△ 174,638,404

(注記)

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

・ 徴収不能引当金

金銭債権の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

・ 退職給与引当金

退職給与引当金の額の算定方法は次のとおりである。

教職員の退職金の支給に備えるため、教職員に係る期末要支給額1,123,465,837円の100%を基にして、大阪府私学総連合会及び京都府私学退職金財団よりの交付金相当額を控除した金額を計上している。

理事および監事については、役員退職慰労金規程に基づいて役員退任慰労金の支給に備えるため、期末要支給額の100%を計上している。なお、役員退職給与引当金については、退職給与引当金に含めて計上している。

(2) その他の重要な会計方針

ア. 預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

イ. 食堂その他の教育活動に付随する活動に係る収支の表示方法

補助活動に係る収支は総額で表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当事項なし

3. 減価償却額の累計額の合計額

9,908,587,481 円

4. 徴収不能引当金の合計額

2,228,999 円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は、次の通りである。

土地 7,500,162 円

建物 269,295,164 円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 302,248,153 円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは
次のとおりである。

①2009年4月1日以降に開始したリース取引

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	5,615,040 円	3,746,352 円
車両	4,574,880 円	3,306,880 円
合計	10,189,920 円	7,053,232 円

②2009年3月31日以前に開始したリース取引

該当なし

(2) 関連当事者との取引

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位 円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の兼任等	事実上の関係				
関係法人	社会福祉法人聖母学園	大阪府寝屋川市	-	保育園の経営	社会福祉法人であることから、議決権等の所有割合は定められておりません。	兼任2名	-	当法人所有地の使用貸借契約(注1)	-	-	-
								建物建設資金の貸付(注2)	-	長期貸付金 短期貸付金	36,000,000 2,400,000

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 当法人所有地を大阪聖母保育園の敷地として社会福祉法人聖母学園に無償貸与している。

(注2) 社会福祉法人聖母学園への貸付金は、内容を検討の上、理事会の承認により決定しており、返済期間は25年、1年据置き、月賦返済、無利息としている。なお、担保は受け入れていない。